

議 事 録

会議名	町史編集委員会		
日 時	令和3年12月17日(金)14:00～16:00	開催形態	公開
場 所	寒川総合図書館会議室		
出席者	委員：圭室委員、鈴木委員、大口委員、鳥養委員、内海委員 事務局：高木館長、平尾主任主事 傍聴者：なし		
議 題	(1) 令和3年度刊行物について (2) 次年度以降の町史編集委員会について (3) 令和3年度事業中間報告 (4) その他		
決定事項	(1) 令和3年度刊行物の内容について説明し、了承された。 (2) 次年度以降の町史編集委員会について協議した。その結果、現委員が留任し、今後の体制については引き続き協議していくこととなった。		
議 事	<p>(1) 令和3年度刊行物について</p> <p>○令和3年度の刊行物の内容について説明したところ、次のような質疑があった。 (委 員) 『寒川町史研究』第33号に、木村勇先生の追悼文を掲載したら良いと考えているのだが、如何だろうか。 (事務局) 独立した原稿として掲載した方がよろしいか。また、どなたに執筆してもらうのが良いか。 (委 員) 独立した原稿が良い。執筆者は、木村先生の業績などについて詳しい方が良い。人選は事務局に一任する。 (事務局) 承知した。</p> <p>(2) 次年度以降の町史編集委員会について</p> <p>○次年度以降の町史編集委員会体制について事務局案を提案したところ却下され、今後の体制については引き続き協議していくこととなった。その際、次のような質疑があった。 (事務局) 編さん事業は文書館の永続事業である。そこで今後のことも見据えて、編集委員の世代交代をはかっていきたいと考えている。委員には、近世から近代を研究している関東近郊の大学教員や、博物館の学芸員などを想定している。 (委 員) 事務局が考える文書館の課題は何か。 (事務局) 公文書に関する例規の整理が喫緊の課題として認識している。</p>		

	<p>(委員) 公文書に関する課題の重要性については理解している。しかし、編さん事業にも力を入れていかなければならない。</p> <p>(委員) 編集委員会は、文書館の運営についても協議する場なのか。編集委員会の目的を明確にしないと、次期委員に委嘱できないのではないか。</p> <p>(委員) これまで35年にわたり編集委員会を担ってきた。これまでの委員会の活動を理解している人が残らないと、事業としての継続性が絶たれる。また公文書の管理に関しても、編集委員がチェックする体制が望ましい。</p> <p>(委員) 前回の編集委員の後任人事はどのように決めたのか。</p> <p>(事務局) 編集委員長に相談して決めていた。</p> <p>(委員) 今回の後任人事についても、編集委員会場で協議して決めた方が良い。</p> <p>(委員) 世代交代を円滑に進めるためにも、現委員が留任した方が良いと考える。現委員が後任人事を協議して、次期委員体制に移行していくべきである</p> <p>(委員) 原則、現委員は留任するということが良いか。</p> <p>(事務局) 承知した。</p> <p>(3) 令和3年度事業中間報告</p> <p>○令和3年事業中間報告を行ったところ、次のような質疑があった。</p> <p>(委員) 複数回にわたりオンライン会議に参加しているようである。オンライン会議には、事務室から参加しているのか。</p> <p>(事務局) その通りである。</p> <p>(委員) 事務室は閲覧室に隣接しているので、場所は考えた方が良い。</p> <p>(事務局) 検討する。</p> <p>(4) その他</p> <p>1) 会議録の署名委員</p> <p>○鳥養委員が指名された</p>
<p>資 料</p>	<p>(1) 令和3年度の刊行物について</p> <p>(2) 令和3年度文書館事業中間報告</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>鳥 養 直 樹</p> <p>(令和4年2月14日確定)</p>